

# 山口県病院協会会報

2024 **4月号** No.83

- 発行日 令和6年4月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会  
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 三浦 修
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



## 医療法人仁心会 宇部仁心会病院

〒755-0032

住 所 宇部市寿町3丁目2番26号

電 話 0836-31-3337

F A X 0836-35-3063

URL : <http://ubejinsinkai.jinsinkai.or.jp>

## CONTENTS (目次)

会員病院紹介	2ページ
協会役員コーナー	3ページ
病院スタッフコーナー	4～5ページ
四県病院協会連絡協議会報告	6ページ
部会コーナー	6ページ
諸会議報告	7ページ
お知らせコーナー	8ページ

## 会員病院紹介

### 病院長挨拶 ～医療法人仁心会 宇部仁心会病院～



医療法人仁心会  
宇部仁心会病院  
病院長

まつもと  
松本 とも  
奉

当院は平成22年の開院以来、循環器・透析医療を中心に地域に根付いた患者さんのための医療を目指してきました。

現在、一般病棟22床、療養病棟25床、計47床の入院診療と、内科・循環器科・腎臓内科外来及び透析医療を行っています。循環器領域では、心不全、不整脈、狭心症・心筋梗塞や末梢動脈疾患等の動脈硬化疾患に対する診断・治療を行っており、また、腎臓領域では慢性腎臓病の診断・治療を中心に行っています。

透析に関しましては、日本の高齢化社会において、現在もですが、今後はさらに、透析導入を含め様々な問題が生じてくるものと考えられます。これまで以上に、より地域に密着した総合的な医療が必要になってくることが推測されます。また、循環器分野では、高齢心不全患者さんが急増しており、循環器疾患に対する専門的知識のみならず、院内外の多職種とのチーム医療、かかりつけ医やケアマネージャーなど在宅に関わるスタッフとの連携が重要となってきています。また、カテーテル

治療においては、CTの発展により、これまでよりも患者さんの負担を軽減した医療が充実してくるものと思われれます。当院でも、そのような医療の導入を積極的に行っていきたいと考えています。

今後も、様々な方からの指導を仰ぎながら、スタッフとともに山口県の地域医療に貢献できるように努力していきたいと考えています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

#### 〈病院の現状〉

##### 1) 概要

名 称 医療法人仁心会 宇部仁心会病院  
開 設 者 医療法人仁心会  
理 事 長 南園 忠  
住 所 山口県宇部市寿町3丁目2番26号  
T E L 0836-31-3337  
F A X 0836-35-3063  
E - m a i l jinsinkai23@bridge.ocn.ne.jp  
U R L http://ubejinsinkai.jinsinkai.or.jp/  
病 院 長 松本 奉  
診 療 科 心臓内科 循環器科 腎臓内科 内科  
病 床 数 47床  
一般病棟22床、療養病棟25床

##### 2) 沿革

平成6年8月 宇部市寿町3丁目3-27に医療法人仁心会  
仁心会病院（内科、泌尿器科）を開設  
平成18年4月 現在地に新築移転  
平成22年4月 仁心会病院から宇部仁心会病院に名称変更す  
ると共に、循環器疾患に対応できるよう血管  
撮影室の設置等、院内を大規模改修  
令和2年5月 320列 Area Detector CT 導入（更新）

##### 3) 特徴

私たちは常日頃より、患者様の立場に立った診療を心がけています。地域に根付いた病院をモットーに、地域医療に貢献できる病院を目指し、日々、精進していきたいと考えています。皆様方のご期待・ご要望にお応えすることができるよう、職員一同、力を合わせていきたいと思っておりますので、今後とも宇部仁心会病院をよろしく願い致します。

#### 〈宇部仁心会病院理念〉

##### 私たちは

- ・地域の医療機関との病診・病病連携に努め、心血管疾患・腎臓疾患及び透析医療に尽力します。
- ・常に患者さんを中心とした医療を心がけます。
- ・常に最新・最高の医療を目指して自己研鑽に努めます。
- ・高い専門性に集結し、チーム医療の提供を心がけます。
- ・患者さんの人権を尊重し、医療倫理の遵守により公平な医療の提供に努めます。

## 協会役員コーナー

### シンプルに



医療法人社団向陽会  
阿知須同仁病院  
理事長

にしだ かずや  
西田 一也

「迷ったときはシンプルに」

プロ野球解説者の権藤博さんが日経新聞のコラム（スポーツ欄）に寄稿されていました。年齢を重ねた状況では、身体のシステムをあれこれ考えるよりも、動作として取り組めば、疲労も少なく済むと。ゴルフでも当てはまるので、覚えておいて損はないそうです。

2024年4月、いよいよ医師の働き方改革が施行されました。時間外労働の上限が設定され、休みはしっかり休めるように改められました。その道の精鋭たる勤務医の先生方にとって、自分の専門分野を生かしていただくための改革であることは間違いないのですが、業務自体の多様性も広がるのでは、と見ているところです。

ほぼ同時期に行われる今回の診療報酬改定では、膨大なデータに基づいたきめ細やかな改定なのだから、有無は言わせてはいただけないのですけれども、急性一般入院料1等に新たに地域包括医療病棟入院料（90日）が加わっています。また先日、中四国厚生局の集団的個別指導のe-Learningを、数回見ました。今更ではございますが、病院の規模に関わらず、入院基本料の基準には5つの医療提供体制が含まれていることを皆さんご存じだったでしょう。入院治療計画から、医療安全、院内感染、褥瘡管理、栄養管理まで。その成果には目を見張るところもあります。主たる業務は多少お任せでも、マネジメントの柱は使命を果たす／人を活かす／社会に貢献する、です。当たり前だと思っはなりません。努力が必要です。

### 近況報告



医療法人山陽会  
長門一ノ宮病院  
理事長・病院長

いなの  
稲野 秀

年始早々、能登地方の大震災と羽田空港の重大事故に胸を痛め（ることしかできませんでしたが）ているうちに、おそらく2月9日の東京出張で新型コロナウイルスに感染してまいりました。約十日間自宅軟禁状態でしたが家族をはじめたくさんの方々のおかげで何とか快癒いたしました。ところが3月3日にはバイクで転倒の自損事故を起こし右上腕骨頭を骨折してしまいました。今は済生会下関総合病院で懇切なご診療を受けながらこの文章を書いております。利き手の可動域が小さいので短文になりそうです。

自院の患者様やスタッフと、原稿を遅らせたことで山口県病院協会にも大変な迷惑をかけてしまったことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。ある程度の用事はネットや電話で済ませられるとはいえ、臨床医はやはり診察室や病棟に居ないと話しになりません。

人の運命が一瞬で変わってしまうこと、苦しいときに助けていただけることの有り難さを痛感しました。復帰は少しでも挽回できるよう頑張ろうと思います。

皆様もお体に気をつけて今年もご活躍ください。





## 病院スタッフコーナー

### 新病院建設に向けての医療者側からの関わり



岩国市立美和病院  
診療放射線技師  
技師長

にわ ひであき  
丹羽 英彰

岩国市立美和病院は旧美和町の国保直診病院として昭和26年（1951年）に設置されました。私は当時の名称である町立美和病院に赴任し、僻地ならではの医療に携わってきました。その後平成の大合併に伴い岩国市の病院となりました。そして令和7年度、新病院として生まれ変わります。新病院では、念願のMRIを設置する予定です。MRIの設置は私が美和病院に赴任した際に思い描いた最大の目標でもありました。赴任時、23年前はCTすらない状態からのスタートでしたので、「住民のために必ずMRIを美和の地域、はたまた玖北地域のために設置したい」と強い思いを抱きました。長い期間、希望をもってチャンスをうかがっていたところ、新病院建設という最大のチャンスが巡ってきたのです。自分自身、新病院建設に伴い、様々な話し合いにも参加しています。そして、病院スタッフと事務側（コンサル業者等）の橋渡しも担っています。この立場も奏功し

てか自分自身の思いは伝えやすかったと思います。

また、新病院では、病床の一部を地域包括ケア病床に転換する予定です。10年後20年後を見据え玖北地域の住民の方が安心して暮らすためにも、地域と病院が一体となって患者様と関わり、いつまでも元気に暮らすためのサポートをしていきたいと考えています。そして地域に根差した病院となるよう職員一丸となって日々の業務に邁進したいと思います。

### リハビリ専門職の役割とは



医療法人社団生和会  
周南リハビリテーション病院  
作業療法士  
主任

まんだ よしひで  
万田 祥秀

当院では、2016年からリハビリ専門職のリハビリテーション地域支援事業への派遣を始め、2017年には院内に「地域活動支援委員会」を設置し、有償・無償を問わず通いの場支援や地域ケア会議への参加以外でも、地域からリハビリ専門職派遣の依頼があれば、業務の1つとして対応できる体制を構築しました。そして2019年3月からは商業施設の空き店舗を利用した地域住民に対する健康増進啓発活動を地域の福祉関係機関の協力のもとスタートさせました。感染症拡大の影響で、一時的に活動休止を余儀なくされましたが、現在は近隣の道の駅の研修室をお借りし、月に1回「しゅうなんリハビリ保健室」として活動を再開しています。

私は、リハビリ専門職は患者様の身体機能や動作能力だけではなく、退院後の生活はもちろん、その生活の場となる「まち」にも目を向ける必要があると考えております。予防の観点から、そして高齢者や障害を持たれた方のQOLの観点から、私たちに何ができるかを考え、実践していきます。

周南市の高齢化率は30%を超えており、2050年には43.8%に上昇すると推計されています。「まち」と「ひと」が、これからも元気であり続けるためには、地域の高齢者と地域資源との繋がりが大切であり、私たちはそれぞれにアプローチしていきながら繋ぎ手の役割も担っていきたくと考えています。

そのために、私たちは広く深い知識を身につける必要があります。専門職として日々研鑽に励み、協働の中で人間力に磨きをかけたいと考えております。

「地域のみんで安心と生きがいを創り出したい」それが私の希望であり目標です。

## 病院スタッフコーナー

### 自分の強みを活かしてできること



医療法人太白会  
シーサイド病院  
副看護部長

やまもと あきこ  
山本 彰子

当院は、回復期リハビリテーション病床、医療療養病床と介護医療院を持つケアミックス病院です。宇部市の東部先端に立地し瀬戸内海が一望できる絶景に加え、患者さんや入居者さんにとって居心地の良い療養環境の提供を心掛けています。職員は日々、相手を尊敬する気持ちと優しさをモットーに「和顔愛語」の実践をしています。

私は今年1月から勤務、慌ただしく毎日は過ぎていますが、当院の誇れる面をたくさん発見しました。地域密着したアットホームな雰囲気、患者さんへの思いやりのある対応、心安い多職種連携、個々の働き方の尊重など。もちろん課題もあり、職員の確保は最優先です。指をくわえていても職員の確保はできません。今とは違う病院のアピールポイントを増やし今以上に魅力ある職場にしていくことが大切です。そのために自身が頑張ればできること、スピードをもってできることを考えると、院内感染対策です。感

染管理認定看護師の資格を取得し10年以上経過しました。自分の強みとして存分に活かしていきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症も5類感染症になったとはいえ、まだまだ猛威をふるっています。職員やその家族の中にも罹患者が絶えません。自分の修得した知識や技術を当院で存分に発揮することで、院内にとどまらず、職員の家族や地域住民を感染から守っていかうと意欲を燃やしています。地域の中規模病院ですが、自院の足元をしっかりと固め、地域住民へ貢献できることは、自分たちの喜びです。それが働く上でのモチベーションにつながり、職員確保にもつながれば良いと考えています。一意専心の気持ちで頑張ります。

### 全世代に向けた地域貢献を目指して



医療法人社団季朋会  
王司病院  
リハビリテーション課課長  
理学療法士

いしかわ たかひろ  
石川 貴浩

当院は下関市の東部にあり、下関市と山陽小野田市の市境部に位置している為に両市の地域医療を担っています。これまで、「地域医療の基幹となりうる施設創りを目指す」を理念に当院リハビリテーション課では入院や外来での医療保険でのサービスをはじめ、通所や訪問リハビリテーションといった介護保険でのサービスやフィットネススクールロコモK.Oでの介護予防サービスを積極的に行ってきました。

これまでは高齢者へのリハビリテーションが中心であった当院でしたが、特に近年は肩関節周囲炎や腱板断裂、リバーズ型人工肩関節全置換術後等の肩関節のリハビリテーションに力を入れてきたこともあり、ロコモK.O式野球塾やロコモK.Oホークスでの小中学生へのメディカル監修を務める事となりました。これにより、これまで当院リハビリテーション課が行ってきた各サービスと併せることで、子供から高齢者までの全世代

に対するサポートを行う地域貢献に携わるようになりました。

更に厚生労働省も重要視しているように、リハビリテーション・栄養管理及び口腔管理の取組の推進も考慮していく必要があります。今後は、運動だけではなく、各世代における身体作りの基本となる栄養摂取を考えた食事内容や嚥下機能の維持向上といったフレイル予防の分野へのサポートにも力を入れていき、行政ともタイアップしながら、全ての世代の方達への身体作りや健康維持、介護予防において、これまで培ってきた知識と技術を基にこれまで以上に地域に貢献できるよう、尽力して参ります。

## 四県病院協会連絡協議会報告

### 第27回 四県病院協会連絡協議会

令和6年1月26日（金）に、岡山・広島・山口・福岡の病院協会による第27回四県病院協会連絡協議会が、山口グランドホテルで開催された。コロナ禍の影響により、一同に会して行われるのは4年ぶり。

当日は、山口県病院協会より三浦会長ほか計19名が出席し、他県からは役員ほか計13名の出席があった。また、株式会社日本医療企画九州支社より、杉安支社長代理が取材の為オブザーバー出席した。

各県病院協会の挨拶および自己紹介の後、それぞれの事業概要について説明があり、続いて提出議題の発表と意見交換が行われた。

各県病院協会から提出された議題は次のとおり。



- |                                       |         |
|---------------------------------------|---------|
| 1) 医療事故調査制度における質の高い院内調査をおこなうための基本的考え方 | (福岡県提出) |
| 2) 「地域病床見える化」岡山県の新型コロナ患者入院状況について      | (岡山県提出) |
| 3) 各県における「医師の働き方改革」の進捗状況（宿日直許可の届出状況）  | (広島県提出) |
| 4) 「医師の働き方改革」に係るアンケート調査の結果報告          | (山口県提出) |
| 5) その他：四県病院協会連絡協議会運営の経緯               | (山口県提出) |

## 部会コーナー

### 事務長部会 支部会議報告

#### 【周南支部】

- 開催日 令和6年3月8日（金）16：00～18：00  
 場所 遠石会館  
 研修会 テーマ「令和6年度診療報酬改定について」  
 講師 株式会社ユアーズブレイン 取締役  
 医業経営コンサルティング部部長 中澤 健 氏  
 その他 協議・報告





## 諸会議報告

### 令和5年度 第4回理事会

日時 令和6年1月18日（木）16:30～17:30

開催場所 山口グランドホテル

#### 【承認事項】

1. 令和5年度山口県病院協会収支予算の執行状況について

#### 【協議事項】

1. 令和6年度定時総会の特別講演について

#### 【報告事項】

1. 第17回医療関係団体新年互礼会について
2. 第27回四県病院協会連絡協議会について
3. 西京銀行との金融懇談会について
4. 県行政委員等の推薦について
  - ・山口県訪問看護推進協議会委員  
常任理事 玉木 英樹（再任）
5. 県各種委員会等の経過報告について

三浦会長

- ・令和5年度第1回山口県医療対策協議会  
(10月12日)
- ・第113回山口県医療審議会医療法人部会  
(10月19日)
- ・令和5年度第1回山口県医療審議会  
(11月14日)

神徳副会長

- ・令和5年度第1回山口県在宅医療推進協議会  
(10月6日)

馬場副会長

- ・令和5年度第3回山口県医療費適正化推進協議会  
(11月17日)

玉木常任理事

- ・令和5年度山口県看護職員確保対策協議会  
(10月24日)
- ・令和5年度第2回山口県社会福祉審議会  
(11月17日)

藤岡理事

- ・令和5年度第2回山口県がん対策協議会  
(10月10日)

#### 【その他】

### 令和5年度 総務委員会

開催 令和6年2月6日（火）

開催方法 Web会議（Zoom）

#### 【議事】

1. 令和6年度叙勲受章候補者について
2. 令和6年度県選奨受賞候補者の選定について
3. 令和6年度県知事表彰（看護職員）推薦について
4. 令和6年度県知事表彰（救急医療）候補者選定について
5. 令和6年度病院優良職員の表彰（山口県病院協会会長表彰）について
6. 令和6年度山口県病院協会事業計画（案）について

#### 【その他】

### 令和5年度 第4回情報管理委員会

日時 令和6年3月13日（水）15:30～16:30

開催場所 セントコア山口

#### 【協議事項】

1. 4月号の発行について
2. 7月号の発行準備について
3. その他

### 令和5年度 第5回理事会

日時 令和6年3月21日（木）15:00～17:00

開催場所 KKR山口あさくら

#### 【議事】

1. 山口県病院協会の令和6年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の設定について

#### 【承認事項】

1. 令和5年度山口県病院協会決算予測について

#### 【協議事項】

1. 令和6年度定時総会特別講演について
2. 夏期医療経営講習会について
3. 病院初級職員研修会について

#### 【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
    - ・山口県献血推進協議会委員  
副会長 馬場 良和（再任）
    - ・山口県社会福祉審議会委員  
常任理事 玉木 英樹（再任）
    - ・山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員  
常任理事 松谷 朗（再任）
  2. 県各種委員会等の経過報告について
- 三浦会長
- ・令和5年度第2回医療対策協議会（2月15日）
  - ・令和5年度第2回山口県医療審議会（2月16日）
  - ・第114回山口県医療審議会医療法人部会（2月16日）
- 神徳副会長
- ・令和5年度第2回山口県在宅医療推進協議会  
(1月26日)
  - ・令和5年度第3回山口県循環器病対策推進協議会  
(2月6日)
  - ・令和5年度第4回山口県感染症対策連携協議会  
(2月7日)

高橋常任理事

- ・令和5年度第2回山口県高齢者保健福祉推進会議  
(11月24日)

西田常任理事

- ・山口県救急業務高度化推進協議会・幹事会合同会議  
(2月15日)

藤岡理事

- ・令和5年度第3回山口県がん対策協議会  
(2月6日)
- ・令和5年度山口県がん対策協議会がん登録部会  
(3月19日)

#### 【その他】

# お知らせコーナー

## 第17回医療関係団体新年互礼会

令和6年1月6日（土）、山口市ホテルニュータナカにて新年互礼会が開催され、医療関係者等が一堂に集いました。山口県病院協会からは三浦会長をはじめとして役員ほか計12名が出席しました。

## 西京銀行との金融懇談会

令和6年1月16日（火）、山口市のレストラン「igrec」において、西京銀行との金融懇談会が開催されました。西京銀行からは松岡頭取をはじめとする役員の方々と、山口県病院協会及び医療関係4団体（全日本病院協会山口県支部、日本病院会山口県支部、山口県医療法人協会、日本精神科病院協会山口県支部）から代表役員が出席し、県内の経済金融情勢や今後の医療情勢等について意見交換を行いました。

## 会員の変更

	変更後	変更前
・松本外科病院	理事長 <small>まつもと</small> 松本 <small>よしまさ</small> 慶政	理事長 <small>まつもと</small> 松本 <small>よしのぶ</small> 良信
・玖珂中央病院	病院長 <small>さわだ</small> 澤田 <small>たけお</small> 威生	理事長 <small>よしおか</small> 吉岡 <small>ほるき</small> 春紀

### ～事務局からのお願い～

病院の住所や理事長・病院長先生並びに事務長、診療科目・病床数などに変更があった場合は、事務局までお知らせください。変更届の様式は協会ホームページ（<http://www.yha.or.jp>）より印刷することができます。

## 病院協会の主な行事予定

○5月14日	第1回理事会	（会場：KKR山口あさくら）
○5月24日	山口県病院協会定時総会	（会場：山口グランドホテル）
○6月5日	初級職員研修会	（会場：セントコア山口）
○6月7日	第1回情報管理委員会	（会場：セントコア山口）

### 編集後記

◆2020年初めから日本を席卷していた新型コロナウイルス感染症は、2023年5月、感染症第2類から第5類に変更され、ポストコロナの時代に入りました。そして今は、物価上昇、円安が進行する中、大企業を中心に思い切った賃上げが話題になっています。人事院勧告がどのようなものになるかはまだ分かりませんが、賃上げの方向に向かうものと思われます◆今回の診療報酬改定では、診療報酬に医業に携わるものの賃金を上乘せする仕組みが組み込まれましたが、実際はどのような世界になるのでしょうか。我々の業界も時代に取り残されることなく頑張っていきたいように。  
（橋谷田 博）